

運動学：重心

38-046 立位姿勢における重心線で誤っているのはどれか。

1. 耳 垂
2. 肩 峰
3. 大転子
4. 膝蓋骨後面
5. 外 果の前方

41-045 安静立位姿勢で正しいのはどれか。

1. 重心線は外果を通る。の前方 → 後方
2. 重心線は股関節中心の前方を通る。56
3. 成人男性の重心は身長約65%の高さにある。
4. 重心動揺は前後に比べ左右で大きい。小さい。
5. 下腿ではヒラメ筋の活動が中心となる。

抗重力筋

42-046 安静立位で正しいのはどれか。

1. 頭部の重心線は環椎後頭関節の前方を通る。
2. 人体の重心は第5腰椎後方にある。第2仙骨の前方
3. 人体の重心線は膝蓋骨前面を通る。後方
4. 股関節の腸骨大腿靭帯は弛緩する。緊張
5. 大腿直筋は持続的に活動する。

非持続的

*大腿二頭筋と大腿四頭筋は、非持続的に活動。

43-046 立位姿勢について正しいのはどれか。

1. 安静立位時の重心線は股関節の後方を通る。
2. 成人の重心の高さは第5腰椎付近にある。
3. 骨盤の前傾は腰椎を後弯させる。第2仙骨の前 → 前弯 増加
4. 閉眼では重心動揺が減少する。増加
5. 高齢者では重心動揺が減少する。増加

45-P-73 成人の静止立位で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 重心位置は第2腰椎のやや前方にある。仙骨
2. 小児よりも身長に対する重心位置が高い。低い 身長が高くなると重心の位置は低くなる。
3. 頭部の重心線は環椎後頭関節の前を通る。
4. 重心線は膝関節軸の後方を通る。前方
5. 重心線は足関節軸の前方を通る。

距腿関節の軸は内果と外果を結ぶ線

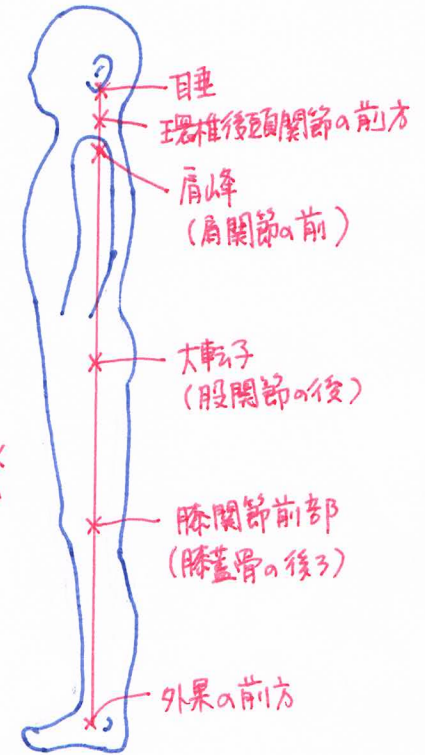
46-P-073 姿勢を不安定にする要因はどれか。

2つ選べ。

1. 視覚の遮断
2. 高い重心位置
3. 広い支持基底
4. 接触面との大きな摩擦
5. 支持基底中心への重心線の投射

} 安定させる

(重心線)



(重心)

第2仙骨の前方
男性で下から56%
女性 " 55%
小児では高い

48-A-073 安静立位姿勢における重心線の通る位置で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 耳垂の前方

② 肩関節の前方

3. 大転子の前方

④ 膝蓋骨の後方

5. 外果の後方 ~~前方~~

肩関節の前、股関節の後ろ!

49-A-073 立位姿勢について正しいのはどれか。

1. 重心動揺は閉眼にて減少する。 ~~増加~~

2. 重心動揺は年齢によって変化しない。 ~~高齢者では重心動揺が増加する。~~

3. 立位時に股関節のY靭帯は弛緩する。 ~~緊張~~ Y靭帯 = 腸骨大腿靭帯

④ 安静立位時にヒラメ筋の持続的筋収縮がある。

5. 立位時の重心の位置は第1腰椎の後方にある。

第2仙骨の前方

50-P-074 成人の静止立位で正しいのはどれか。

① 重心線は足関節軸の前方を通る。

2. 重心線は膝関節軸の後方を通る。 ~~前方~~

3. 重心線は環椎後頭関節の後方を通る。 ~~前方~~

4. 重心位置は第2腰椎のやや前方にある。 ~~仙骨~~

5. 小児より身長に対する重心位置が高い。 ~~低い~~

※ 膝関節軸からは前方、
膝蓋骨からは後方!